



▲▼町のPRが描かれたトラックの両側面



## トラックで地域活性化 ラッピングトラック完成

熊本工機株式会社(右間靖彦代表取締役社長)は6月4日、南関町の特産品やイベント風景が描かれたラッピングトラックの完成お披露目会をジョイックスシステムで開催しました。

このトラックは、地域活性化と交通事故防止を目的に熊本工機と同社の製品輸送をしている有限会社ジョイックスシステム(吉原崇己代表取締役)が昨年3月に1台導入し、今回新たに1台をジョイックスシステムが全額出資し、町と連携して企画。自社の10ントラックの両側面に町の写真やトッパ丸のイラストなどを描きました。

トラックは、全長約12メートル、高さ約3.82メートルで町と中部東海地区を運行します。来年3月にはデザインが違うトラックを導入する予定です。

佐藤町長は「昨年トラックを導入したことで格段にPRできた。これからも町をPRし町民の皆さん誇れる町にしたい」と述べました。



## ガタリンピック開催 三小の児童が泥だらけの体験

第三小学校(森山資典校長)の5年生14人と福山正英さん(相谷)は6月13日、同校近くの田んぼでガタリンピックを開催しました。

この大会は、あまり泥に触れる機会がない児童が泥に触れ、貴重な経験を思い出を作つてもらうことを目的に開催。当日は山積み競争や田んぼフラッグを行いました。また、翌週には田んぼに水が張られ、田植えが行われました。

田中麗愛さん(豊永)は「泥は濁れそなくらい柔らかかった。みんなと一緒に遊ぶことができていい思い出となった。美味しいお米ができるうれしい」と笑顔で話しました。児童たちが自ら泥に入り、仲間や自然と触れあった貴重な一日でした。



## 旭日単光章受賞 村上昭一さん

4月1日、村上昭一さん(下坂下)が、地方自治功労者として旭日単光章を受章。6月5日に佐藤町長から勲記と勳章が伝達されました。

昭一さんは昭和53年2月から12年間にわたり町議会議員として在職。昭和57年から4年間は、文教厚生常任委員会副委員長として保健・福祉および教育の設備充実の推進に努め、町の発展に大きく貢献しました。

勲記と勳章を伝達された昭一さんは「名誉ある章の受章は私一人ではできなかった。皆さんに本当に感謝している」と感謝の言葉を述べ、佐藤町長は「いろんな力を發揮していただいた。昭一さんが行ってこられたことをこれからも次の世代に引き継いでいただきたい」と述べました。



▲全力で走る選手たち



▲力走する津留さん

## 町の代表選手が全力を尽くす

### 第73回玉名郡民体育祭(陸上競技)

5月13日、第73回玉名郡民体育祭(陸上競技)が和水町総合グラウンドで開催されました。

町を代表する30人の各年代の選手が奮闘した結果、男子の部4位、女子の部4位、総合4位という結果になりました。

南関町選手団の各種目の優勝者は次のとおりです。

#### 【男子の部】

氏名	種目	記録
鈴木 鑛満(小原)	2000m 70歳以上	9分13秒3
西田 政博(関町)	100m 40歳~49歳	13秒4
津留 健太郎(関東)	3000m 29歳以下	9分21秒7



## 立派に育つことを願って 三小の児童がサツマイモ苗植え

第三小学校(森山資典校長)の1年生から6年生の児童105人と福山正英さん(相谷)は6月1日、同校近くの畑でサツマイモの苗を植えました。

この取り組みは年間を通じて農作物の収穫を行っており、その一環として苗植えを実施。苗は若手農業者グループ「がまだす隊」(猿渡利和隊長)が毎年小学校などに寄付しています。この日は全学年が交じった縦割班で、上級生が下級生に苗の植え方などを教えながら植えていました。

永杉匡也さん(6年)は「苗の半分くらいを植えるのが難しかった。水を与えて立派に育てたい」とあつく語りました。



## 安全・安心な暮らしのために 町防災会議

町は5月30日、役場で防災会議を開催し、「平成30年度南関町地域防災計画」の一部修正や内容などについて協議を行いました。

この計画は、災害対策基本法の規定に基づき毎年作成されるもので、防災対策の現状把握と災害時の応急措置体制などが盛り込まれています。今回追記した項目は「第2章災害予防計画」の「第16節公共施設等災害予防計画」や「第4章地震災害応急対策計画」の「第7節文教対策計画」などです。